

今後、県北部の高等教育機関として存在感を示していくのはもとより、県全域で高等教育機関同士の連携・協体制を深めていくことが、長期的な視点で必要になってくるのではないかと思っています。包括連携協定締結10周年を契機に高専が地域とともに飛躍できるよう、さまざまな試みに取り組んでいきたいです。



谷口市長 地方自治体が地域の特性を活かして人を育てることは、基礎自治体としての大きな仕事です。また、教育は地域を活性化して成長させていくための基礎です。特に、学術研究と知識基盤を支える高等教育機関の存在は、拠点都市に必要な知的財産として、非常に重要です。地域で活躍する人材の育成は、地域産業の発展に結び付き、地域の魅力の向上につながります。

**高等教育機関は拠点都市に必要な知的財産**



美作大学は、他者の公立大学に負けない実績があり、「教育の美作」を自負しています。圧倒的な教育力を基礎とし、地域の人材育成に取り組む「地方大学の雄」と呼ばれる存在となることで、この地に大学を残していきたいと思っています。そして、3者連携を発展させ、共に津山の未来を切り拓いていくため、地域に存在する高等教育機関として使命を果たす決意です。

**地域の人材育成に取り組む大学の雄として**

鶴崎学長 国は、結び付きの強い地域の行政や産業界と力を合わせて地域の人材育成の将来像を描くよう、高等教育機関に求めています。美作大学は、地域によって生み出され、育てられ、地域と共に歩む大学です。周囲の公立大学が美作大学と同一の学科の設置を進める中、公立大学の方が授業料が安いなど、公平な競争環境ではありませんが、逆境に負けず、この地域に大学を残すことが最大の地域貢献と考えています。

**3つの図書館の連携効果により**

**津山モデルと評される取り組みの充実を**

鶴崎学長 図書資料の相互貸し出しの取り組みは、津山市・美作大学・高専の図書館3館から始まり、今では市内6高校の図書館にも広がっています。3館が連携し、高等教育機関と地域住民とのつながりを深めることで、教育・学術・文化の発展、さらには津山市の魅力向上にもつながっていききたいと思っています。

**学校の特徴を活かした図書資料の収集**

磯山校長 3館は一般開放されていて、誰でも自由に利用することができます。この利便性の高いサービスをより多くの人に利用してもらえよう、広報活動や共同イベントの実施などを継続していきたいと考えています。また、高専の特色を活かした理工系分野の図書資料の重点的な収集や職員の相互連携など、連携がさらに発展するよう取り組んでいきたいです。3館連携10周年記念事業には、たくさんの市民や関係者が参加しました。高等教育機関が図書館を通じて地域住民との関わりを深めることは、地域の教育や文化の振興にもつながります。積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**包括連携協定に基づく主な取り組み**

- 平成20年度 ● 包括連携協定締結
- 図書館の相互協力に関する協定締結
- 3図書館と市内高校の相互協力に関する協定締結
- 授業の単位互換協定締結(美・高)
- 図書3館相互貸借サービス開始
- 中心市街地の空き店舗を活用したイベント(MIMA商店街)開始
- 平成21年度 ● 学生参加のビブリオバトル(書評イベント)開催
- 平成22年度 ● 学園祭での古本市開始
- 平成23年度 ● 科学教育連携事業開始(市・高)
- 平成24年度 ● 市立図書館利用に関する新入生向けガイダンス開始
- 平成25年度 ● 学生参加のビブリオバトル(書評イベント)開催
- 平成26年度 ● 留学生相互の交流開始(美・高)
- 平成27年度 ● じば子のおうち事業開始(市・美)
- 平成28年度 ● つやま子ども未来塾連携講座開始
- つやまイノベーションセンター設置(市・高)
- 平成29年度 ● 図書館3館連携10周年記念事業
- 平成30年度 ● 市立図書館40周年記念事業(市・美)



図書館の連携について語り合う3者

**3つの図書館の連携効果により**

**津山モデルと評される取り組みの充実を**

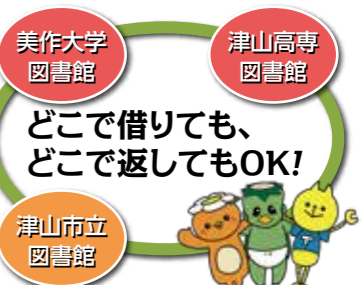
鶴崎学長 図書資料の相互貸し出しの取り組みは、津山市・美作大学・高専の図書館3館から始まり、今では市内6高校の図書館にも広がっています。

**70万冊が利用できる「津山モデル」**

**図書の貸出・返却がますます便利に!**

市立図書館の貸出券があれば、市立図書館で借りた本の美作大学図書館や高専図書館での返却、予約した本の受け取りが可能です。

美作大学図書館・高専図書館の本を市立図書館で受け取り、返却することもできます。



とを考えています。

**学校の特徴を活かした図書資料の収集**

磯山校長 3館は一般開放されていて、誰でも自由に利用することができます。この利便性の高いサービスをより多くの人に利用してもらえよう、広報活動や共同イベントの実施などを継続していきたいと考えています。

また、高専の特色を活かした理工系分野の図書資料の重点的な収集や職員の相互連携など、連携がさらに発展するよう取り組んでいきたいです。

3館連携10周年記念事業には、たくさんの市民や関係者が参加しました。高等教育機関が図書館を通じて地域住民との関わりを深めることは、地域の教育や文化の振興にもつながります。積極的に取り組んでいきたいと考えています。

これには、高等教育機関の協力が不可欠です。若者の地域外への流出を防ぐだけでなく、新たな人材を呼び込むためにも、高等教育機関と協力をしながら、若者が津山で活躍できる場を作っていくことが、津山市の大きな役割だと思っています。包括連携協定締結から10年という一つの大きな節目を迎え、両校としっかり連携し、明るい未来に向けたまちづくりに取り組んでいきます。

**包括連携協定に基づく主な取り組み**

- (市・津山市、美・美作大学、高・高専) その他は3者が実施
- 平成20年度 ● 包括連携協定締結
- 図書館の相互協力に関する協定締結
- 3図書館と市内高校の相互協力に関する協定締結
- 授業の単位互換協定締結(美・高)
- 図書3館相互貸借サービス開始
- 中心市街地の空き店舗を活用したイベント(MIMA商店街)開始
- 平成21年度 ● 学生参加のビブリオバトル(書評イベント)開催
- 平成22年度 ● 学園祭での古本市開始
- 平成23年度 ● 科学教育連携事業開始(市・高)
- 平成24年度 ● 市立図書館利用に関する新入生向けガイダンス開始
- 平成25年度 ● 学生参加のビブリオバトル(書評イベント)開催
- 平成26年度 ● 留学生相互の交流開始(美・高)
- 平成27年度 ● じば子のおうち事業開始(市・美)
- 平成28年度 ● つやま子ども未来塾連携講座開始
- つやまイノベーションセンター設置(市・高)
- 平成29年度 ● 図書館3館連携10周年記念事業
- 平成30年度 ● 市立図書館40周年記念事業(市・美)